

- ▶調査対象／
市民 1,800名
※市内在住の方を無作為抽出
- ▶調査期間／12月10日(金)～30日(木)
- ▶調査方法／
調査対象者にアンケート用紙を送付。同封の返信用封筒で回答票を回収
- ▶調査内容／
広報だてでの購読頻度、入手方法、情報量・文字の大きさ・文章表現などの印象、現在の掲載内容への評価、意見・要望など



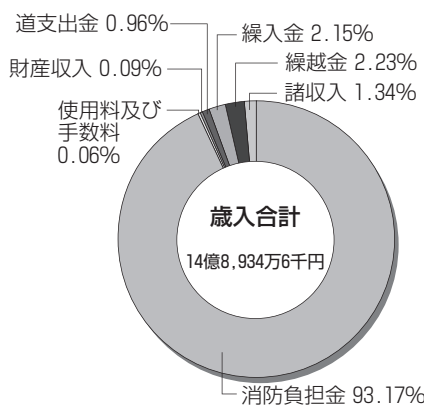
市では、市民の皆さんに読みやすく、より一層親しんでもらえる広報紙づくりを進めるため、「広報だて」市民アンケートを実施することになりました。毎月1日発行の「広報だて」に対する市民の皆さんの貴重なご意見・ご要望を今後の紙面作りの参考にして、現在よりもさらに関心を持って読んでいただける広報紙の発行を心掛けていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。なお、アンケートの集計結果につきましては、広報だてや市のホームページで公表する予定です。

広報だて 市民アンケートの お知らせ



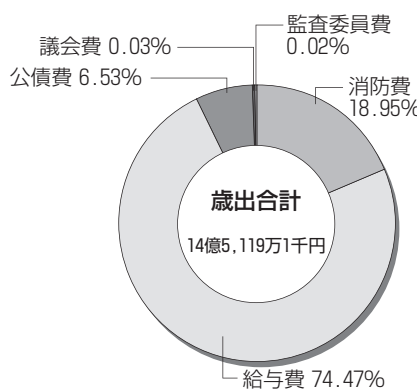
詳細／企画課広報広聴係
(市役所2階 ☎23-3331 内線238・239)

【歳入】	(単位：千円)
1. 消防負担金	1,387,557
(内訳) 伊達市	681,910
洞爺湖町	392,883
豊浦町	165,079
壮瞥町	147,685
2. 使用料及び手数料	910
3. 道支出金	14,330
4. 財産収入	1,439
5. 繰入金	31,995
6. 繰越金	33,140
7. 諸収入	19,975



歳入では、歳入グラフのとおり自主財源の消防負担金が最も大きく、構成4市町の規模(人口割・財政割)及び均等割で負担率が決められています。

【歳出】	(単位：千円)
1. 議会費	445
2. 監査委員費	262
3. 消防費	274,931
4. 給与費	1,080,770
5. 公債費	94,783



歳出では、歳出グラフのとおり給与費が最も大きく、その他の歳出は主に消防本部、各消防署(支署)の活動経費に充てられました。

平成21年度西胆振消防組合 決算概要をお知らせします

詳細／西胆振消防組合
消防本部総務課
(☎21-5000)



伊達火力発電所の 公害防止に関する協定を改定しました

詳細／環境衛生課環境衛生係（第2庁舎☎23-3331内線542・543）

今年9月に発覚した北海道電力(株)伊達火力発電所のボイラー排出ガス中の窒素酸化物濃度協定値超過に対する改善対策に伴い、「伊達火力発電所の公害防止に関する協定書」を改定しました。

この協定書は伊達火力発電所の運転に伴い、伊達市、豊浦町、洞爺湖町、壮瞥町と北海道電力(株)が、伊達地方の公害防止を目的に、北海道知事、北海道産業保安監督部長立ち会いのもと、11月17日(水)に締結しました。

改定の概要

- ①排煙中の窒素酸化物の排出濃度については、これまで酸素濃度換算値のみを中央操作室において、常時遠隔表示のうえ記録を管理していましたが、窒素酸化物の測定値及び酸素濃度についても常時遠隔表示のうえ記録を管理できるようにしました。
- ②テレメータシステムの採用を硫黄酸化物の排出濃度に加え、窒素酸化物の排出濃度（酸素濃度換算値）も採用し、データを胆振総合振興局に送信できるようにしました。

福祉

に関する 情報コーナー

詳細

社会福祉課
障がい者福祉係
市役所1階⑧番窓口
(☎23-3331 内線319・320)

12月3日～9日は「障害者週間」です

「障害者週間」は、平成16年の障害者基本法の改正で、国民の間に広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がいのある方が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意識を高めることを目的に制定されました。

この週間は、「国際障害者デー」であり、また障害者基本法の公布日でもある12月3日を起点として、「障害者の権利宣言」が国連総会で採択され、昭和56年11月、「国際障害者年」を記念し、わが国の「障害者の日」とされた12月9日までの一週間を定めたものです。

私たちの生活の中では、障がいについて知らないために、結果的に障がいのある方に不自由や不快な思いをさせてしまうことがあると思います。障がいについて理解し、日常生活や事業活動の中での配慮

や工夫をしてみることで、障がいのある方の社会参加の機会が随分と広がることとなります。

この機会に改めて、あなた自身にできることを一緒に考えてみませんか。



障害者週間ポスター入賞作品（内閣府HPより）